

1. 第2次春日井市障がい者総合福祉計画(中間案)に対する意見について

1) 生活支援の現状と課題 (p 36) について

障がい福祉サービス・相談支援事業及び地域生活支援事業の実績も踏まえた内容としていただきたい。

例えば、アンケートの結果、今後のサービス利用の意向の上位に挙げられている移動支援は利用実績が見込み量を下回っている。

利用が進まない要因としては、利用しづらさも考えられるが、今回示されている情報からは判断できない。

今後の評価では対象者数に対する認定者数の割合など詳細データの収集をして検討することが望ましい。福祉サービス利用促進のために、意向があるにもかかわらず利用が進まない現状があることと、利用が進まない要因を検討する必要があることに触れていただきたい。

追加文(案)

・・・4割弱の方が障がい福祉サービス等を利用していないことが分かりました。

障がい福祉サービス等事業の実績 (p 12, 13, 16, 17) で見込み量をおおきく下回る実績のサービスがありますが、その中には今後のサービスの利用意向に関するアンケートで上位に挙げられたサービスも含まれています。意向があるにもかかわらず利用が進まない現状があります。

・・・中略・・・

こうしたことから、まず、福祉サービスの利用が進まない要因について検討し、利用を促進する対策をとり、家族の負担軽減を目指すとともに、障がい者生活支援センターにおいても、障がいのある人やその家族が生活上の課題について気軽に相談でき、満足できる体制を充実させることが必要です。

以上